

議案に対する質 疑

まちづくり郡中の経営
状況報告書について

問

- 一・第七期事業計画で黒字決算を図り、第十期には累積赤字を解消するとなっているが、その内容をお聞きしたい。
- 二・町家の鮮魚部門が撤退しているが、今後の対策を問う。

答

一・対前年度決算で20%程度、売り上げが伸びている。施設の使用料が会社の収入として



休業中の鮮魚売場

問

一定の額を見込めることから黒字決算である。このような形で累積赤字の解消を図っていく。

二・九月一日から鮮魚部門が休業しているが、鋭意調整しており、間もなく再開できるようなことを聞いている。

町家の事業体制について

問

現在の町家の事業体制はどうなっているのか。またマネージャーの役割は、どのようなものかを問う。

答

現在「マネージャー心得」という職名で女性の正職員が一名配置されている。マネージャーの職務は事務、経営全般あるいは取締役の経営的な補佐という形を主な職務としている。そのほか経理専門のパートが一名、販売に係るパート職員十名余りを現在配置している。

町家の施設改善等について

問

一・五色姫のブロンズ像を活かした集客の仕掛を考えてはどうか。

二・目に付きやすく特色のある看板の設置と車の駐車場への出入りが不便であるので改善を求む。



五色姫のブロンズ像

答

一・町づくりの核であり、何か物語ができるような仕掛をやっていききたい。

二・駐車場への出入りが困難なことは認識している。看板・駐車場の件・町家の宣伝も含めて早速検討したい。

町家駐車場



町家駐車場

市長交際費について

問

一・前年度に比べて大幅に増加しているが、その主なものは何か。

二・見舞金を交際費から支給するのは、おかしいのではないか。

答

一・郡中小学校児童の転落事故があり、見舞金を支給したためである。

二・この内には、医療費などの諸費用が含まれ、緊急性があり交際費から支出したが、

最終的に補償金が決定すれば、日本スポーツ振興センターから保険金が入り、医療費などは精算される。

愛媛県地方税滞納整理機構による徴収の効果等について

問

一・それによって得られた収入は、市民税・法人税・固定資産税等どんな割合で徴収できているのか。

二・伊予市一般会計収入未済額についても、当該機構と今後どう対応していくつもりか。

三・機構に移管した四十件の基準は。

四・徴収ができなかったものの今後の対応は。

答

一・市・県民税が38・06%で四百四十七万六千円、固定資産税が二百四十九万九千円で18・27%、軽自動車税が七万一千円で0・6%である。国民健康保険税については、五百六万六千円で43・07%である。

二・当該機構は二倍近くの徴収